

むすびめ通信

Musubime works for the better society

Bible:エペソ人への手紙4:16



湯本沙友里 ニュースレター

Vol.010 2020年12月発行



いつもこの通信をご覧いただき、ありがとうございます。2020年は新型コロナ過によって、皆さまそれぞれ、様々な変化への対応を迫られた年であったのではないかと思います。

私(湯本)のエチオピア渡航は、年初めには春先にと計画しておりましたが、大幅な軌道修正をする形となりました。もしかすると先数年間は、これまでの方法での活動実施は難しくなるかと思いますが、見直すための良い時期ととらえながら日本で収束を待ち備えつつ、リモート時代におけるエチオピアの方々に関り合いや取組み方を模索し、出来る範囲の中で実施していきたいと思います。

現在エチオピアの協働者たちからは、コロナの影響が社会の弱い立場に置かれている人々に及ぼしている状況(失職者の増加、学校の休校や授業日数の減少、少女を強制的に結婚させる、など)の報告を受けています。2021年は収束までの短期計画として、これらの状況に対する活動を支援を中心に進める予定です。(詳細は次号で報告致します。)

2020年はStay Home 期間を楽しむ発想へ切り替え。
7年間の活動を振り返る、充電期間として。

小規模オンラインショップ・オープン

これまで、報告会やイベント出店などを通して、エチオピアを始めとするアフリカの商品販売を行ってききましたが、今年中止が重なり出店することができず、代わりにオンライン・ショップ(Ethiopian Cross)をオープンしてみました。友人たちの協力の元、エチオピアの伝統的なデザインの十字架チャームを使ったアクセサリを日本で揃えた素材と合わせてハンドメイドしたものを中心に販売しています。エチオピアのスカーフなど、売春女性など不当な労働を強いられていた人々を支援するための事業でつくられた商品など取り揃えており、今後もその様な商品を日本に紹介していきたいと考えています。

home about contact

Ethiopian Cross

オンライン・ショップ

【エチオピアン・クロス】

<https://ethiopia.handcrafted.jp/>



また、自粛期間中には、「私にもできることを」と、考えてくれた友人・知人たちの行動によって、活動の輪が広がったことも感謝でした。支援販売用にと、エチオピアの布を使った手作りマスクをご提供下さった方や、アクセサリPRのためのモデル写真を撮って送ってくださった購入者の方々がいっぱいいました。

社会の変化に対応する困難な状況の中では、ご自身のことに対応していくことだけでも大変な事と思いますが、そんな中でも外へ目を向けながら、世界の誰かの抱える問題を心に留めて、手を差し伸べようとされる方が全国にいらっしゃることに励まされました。ご協力くださった皆さまへ、心から感謝申し上げます。

オンラインでのアクセサリ販売はご好評いただき、今のところほぼ売り切れではありますが、2月頃までにはエチオピアから商品を追加する予定です。情報はSNS(Instagram・FB)でも配信していますので、ご覧いただけますと幸いです。



販売している商品とモデル協力してくれた友人たち

オンライン・コーヒーセミナー

2019年の秋に開催したアフリカ・コーヒーツアーの参加者の方の繋がりから、セミナー開催に関心を持っていただいた方より、メンバーの中島さん(バリスタ)が講師としてご依頼を頂く機会がありました。コロナの影響で会場での開催は中止となったものの、代わりにZoomでのオンライン実施という新しいセミナーのやり方を模索する機会となりました。コーヒーを通して、人と人との繋がりづくりを提供するオンラインの場という発想が面白く、Stay home中の自宅でのコーヒータイムを楽しんでもらえたらと、コーヒーの美味しい淹れ方や、発祥の地エチオピア紹介、現地活動紹介などをさせていただきました。



2019年のアフリカ・コーヒーツアーのメンバーとセミナーの様子。
コロナ収束後の再開を願って



オンラインでの
コーヒーセミナーの様子

世界食料デー登別大会での活動報告(9月)

29回目となった世界食料デー登別大会にて、エチオピアでの活動講演をさせていただきました。今年のノーベル平和賞は、世界各地で食料支援を行う国連機関 WFP(世界食料計画)が選ばれました。国際社会共通の目標として掲げられている SDGs(持続可能な開発目標)には、「1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに」とかかげられています。この大きな課題解決に、個人は無力なのでは?と思ってしまう方もいるかもしれません。しかし、世界食料デー登別大会を訪れる度、「小さな個人ができることを継続する」力強さを思わされています。

コロナ渦で渡航を見合わせる事になった2020年。様々なチャレンジの中でようやく現地の活動が動き始めた矢先での計画の練り直しを迫られた時、心身の疲労感を覚え、目標を見失った感覚に陥って気落ちしていた私がいま。そんな中、活動報告のために訪問した登別で見たのは、変わらずにエチオピアの方々を思い、「自分にできる小さなこと」を継続している皆さんの姿でした。それは何よりも力強く、勇気と励ましを与えてくれるものでした。

私がこれまで、エチオピアと関り続けさせてもらったのは、長年現地で専門的な活動に従事して来られた先駆者の方々の苦勞や、登別の皆さんの取組、そしてこの通信の先で活動を支え続けて下さっている皆さんとの繋がりがあからこそだと思わされます。2021年も関りが与えられたエチオピアを心に留めて、これまで積み上げてきたことを活かしながら、日本でできることを行っていく所存です。



登別市長、世界食料デー登別大会実行委員のみなさんとコーヒーセレモニー

その他報告会・講演など

福岡女学院大学(11月)

国際キャリア学部の国際関係に関する授業の外部講師として、エチオピアでの取組や自身の経験・経歴に関するお話などをさせていただきました。オンライン授業が主体となった授業では難しい点も多々ある中で、利点としては、学生の意見がチャットにより積極的に交わされるようになったこと、外部講師の直接来校が不要になったため講義に広がりを持ってたことが挙げられると伺いました。このような状況下でも世界が抱える諸問題への関心を持ち、学びを深め続けている先生と学生たちとの交流は意義深いものとなりました。



写真右：国際キャリア学部の千葉教授と



2019年に大学訪問

- 同盟基督教団登別中央福音教会(9月)
- 佐野市ノア外語学院内(レインボーチャペル)(11月)
- 同盟基督教団古河教会(12月)

今後の計画

2021年は短期プロジェクトとして、コロナの影響ゆえに、通学日数を減らしたり、学校へ行けないでいるこどもたちへの補習校とコミュニティづくりと、職を失って子どもを養う術のないシングルマザーへの職業支援を行う計画をしています。

私自身の渡航は難しいと考えていますが、志を共にする現地の仲間たち(NGOスタッフや学校長などの仕事をされている方々)との協働のもと、計画を立てているところです。詳細は次号にてご報告いたします。

困っている目の前の一人が立ち上がっていけるように親身に関わることを大切にしながら、小さな個人の繋がりにある私たちに出来る範囲でコツコツと行い続けられればと思っています。

2020年 支援金報告

- ① FVI口座: 21件(団体16件・個人5件) 計 429,978円
 - ② 湯本エチオピア口座: 13件(団体4件・個人8件・匿名1件) 計 270,000円
 - ③ 物販売上より 29,788円
- 合計 729,766円

今年は渡航ができなかったものの、皆さまのお支えとご協力により、現地活動への今後の見通しを立てながら、国内活動が継続できましたこと心より感謝申し上げます。本年度会計報告は、次号の通信に合わせて発行いたします。

連絡先

湯本 沙友里 Sayuri Yumoto
Email: sayuri@karashi.net

支援のための寄付方法

経済的支援をもってご協力くださる方はお手数ですが下記の口座にお振込みください。報告はニュースレターにて随時お知らせしますので、配信ご希望の方はご連絡ください。

① ゆうちよ振替口座 口座番号: 00180-0-300201
名義: FVI
★ 通信欄に「湯本指定」とご記入ください。

② ゆうちよ振替口座 口座番号: 00830-9-137685
名義: 湯本沙友里
他行等から 店名: ○八九店 当座 0137685

支援金はどちらの口座も同様に、派遣・国内活動に関わる経費に充てられます。FVI名義の口座では、湯本がサブスタッフとして関わる非営利団体「声なき者の友」の輪を通して税理士より監査を受けて年次報告いたします。ウェブサイト(karashi.net)から閲覧可能です。